



## 「常陸の国 ときめきフォーラム」開催！ ～全国生活研究グループ連絡協議会全国会議茨城大会～



結城市マスコットキャラクター「まゆげった」がお出迎え

2日目は県内全域9コースに分かれ、現地研修を行いました。坂東・結城コースには25名が参加し、道の駅「まくらがの里こが」にて、食遊三和を講師にリップクリーム作りを行いました。その後結城つむぎセンターに移動し、結城市の特産品である「すだれ麩」と「茹でまんじゅう」を含む昼食後、結城紬を見学しました。

結城地域等の女性農業士がスタッフとして対応し、参加者に地域農業等の説明を行いました。

長期間に渡り準備を行ってきた大会ですが、無事全日程を終えることができました。

11月10日・11日の2日間にわたり、茨城大会「常陸の国 ときめきフォーラム」が開催されました。この大会は、全国の生活研究グループ員が集い、地産地消・食育・集落環境づくり等の活動について研修し、互いの意見や情報を交換することを目的に、毎年各県持ち回りで開催されています。

1日目は県内外から約500名が出席し、ホテルレイクビュー水戸にて講演や事例発表、交流会等が行われました。



説明を行う結城地域の女性農業士

## ●●● 結城地域女性農業士会食農教育活動 ●●●

11月17日、結城地域女性農業士会は、青谷女性農業士（八千代町）を講師に、地元農産物を活用した料理の調理講習会を開催しました。今回調理を教わったのは、皮から作る餃子・キムチの素・ハウレンソウケーキの3品です。

ハウレンソウケーキは、炊飯器で普通に炊くという簡単な方法のため、家で作ってみたいという声が多く聞かれました。レシピは、農業いばらき第68巻1月号に掲載されています。



「農業いばらき」を購読しませんか？ 年会費(購読料)は4,200円です。

# 結城市農村青少年クラブが第46回農業祭を開催しました！

11月28日に結城市農村青少年クラブ（結城4Hクラブ）主催の農業祭及び農産物共進会が結城市浦町児童公園で開催されました。今年で46回目となる農業祭は結城4Hクラブ恒例のイベントであり、クラブ員は事前の準備に力を入れてきました。

前日に行われた共進会の審査会には、結城市内の農業者から農産物77点が出品されました。結城4Hクラブ員のほか、市役所、JA、結城普及センターが審査員となり、審査が行われました。



農業祭当日は、審査により各部門で1位となった生産者に対し、各賞の授与が行われました。その後、出品された農産物の展示・即売会が行われ、ハクサイやハボタン等の農産物を手に取り買い求める姿が見られました。また、結城4Hクラブでは、焼きそばや豚汁、チョコバナナ等の販売も行いました。

今後も若手農業者が主体となって、更なる地域交流、地域農業への貢献が期待されます。

結城管内には2つの4Hクラブ（結城4Hクラブ、鬼怒4Hクラブ）があり、クラブ員を随時募集しています。詳しくは結城普及センターまでお問い合わせください。



## 梨のせん定シーズン到来！越冬病害虫の防除を徹底しましょう

各部会で、梨のせん定講習会が開催され、せん定シーズンに入りました。今年の花芽の着生状況は平年並みですが、使える短果枝はなるべく残すようにし、花芽を見ながら新しい枝への更新を行い、着果数量を確保しましょう。側枝間隔に余裕を持たせ、園内があまり暗くならないようなせん定を心掛けましょう。また、再来年に向けてできるだけ多くの予備枝を確保します。

黒星病の防除のため、落葉処理を徹底するとともに、早めのせん定、側枝の先端の切り戻し、下芽の整理を行います。また、ハダニ類やカイガラムシが増加傾向にあるので、越冬病害虫の防除を徹底しましょう。

### 土壌・肥料のはなし — ムギ —

麦（小麦・大麦）は、転作作物として、管内で広く栽培されています（約1,300ha）。

しかし、収量・品質は改善の余地が多くあります。多収・高品質を両立するためには、適期播種や排水対策、麦踏みといった栽培管理に加えて、適正施肥も重要です。

基肥は、窒素成分で6～7kg/10a、追肥は、2～4kg/10aを施用します。追肥は、収量向上のためには「莖立ち期」、タンパク質向上のためには「出穂15日前」に、それぞれ施用することが効果的です。

